

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2019年7月31日第8刷～2022年11月20日第20刷)」に誤植・誤掲載箇所がありました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P25 パーマの始まり  
誤)ドイツのチャーチル・ネッスラー  
↓  
正)ドイツのチャールズ・ネッスラー

[正誤表]

・P28 <復習してみましょう！>  
誤)太古官布告  
↓  
正)太政官布告

【回答】2

お歯黒は11世紀半ば(平安時代)には一般市民にも広がり、  
明治時代の太古官布告で禁止されるまで続いた。

正) 太政官布告

パーマの始まり

(1905)



正) チャールズ

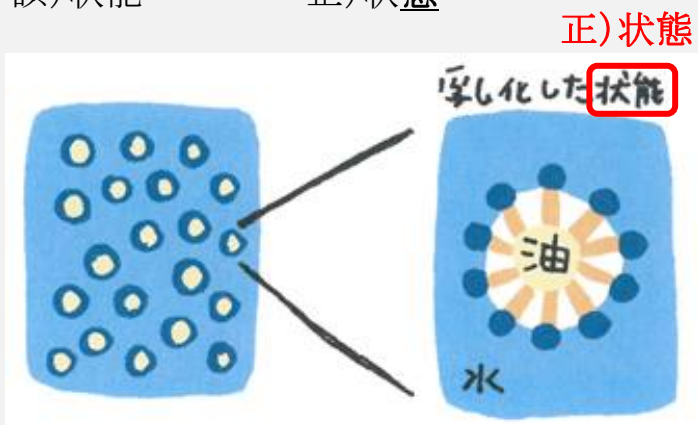
ドイツのチャーチル・ネッスラーがホウ砂と高熱によって髪にウェーブをつける「ネッスルウェーブ」を発明。1920年代にはアメリカで流行しました。

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2019年7月31日第8刷～2022年11月20日第20刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P34 界面活性剤 図  
誤) 状態 → 正) 状態



[正誤表]

・P94 <皮下脂肪のしくみ>  
誤) たくわえがなくなり、 → 正) たくわえられなくなり、

### <皮下脂肪のしくみ>

脂肪細胞は胎児期・乳児期・思春期のみ増加し、成人期には数が変わることはなく、1個1個が大きくなったり、小さくなったりするといわれていました。成人期でも肥満が進むと個々の脂肪細胞にたぐわえがなくなり、細胞分裂により増えることがあるということが最近の研究でわかりました。

正) たぐわえられなくなり、

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2019年7月31日第8刷～2022年11月20日第20刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P123 表【マンダリン】抽出部位  
誤)果実 → 正)果皮

|  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |  |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|---|--|
| ローズウッド   | ラヴィンサラ  | ヤロウ   | メリッサ  | ミルラ   | マンダリン   | ベンゾイン   | ヘリクリサム  | ベチバー  | ブラック<br>ペッパー  | プチグレン  | フェンネル   | ローザ<br>パルマ  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

正)果皮 

[正誤表]

・P130 表【シプレー】代表作  
誤)LUSH2(グッチ) → 正)RUSH2(グッチ)

|      |  |                            |
|------|--|----------------------------|
| シプレー | オークモス(苔)とシトラスに、フローラル、アニマリックなどの複雑なコンビネーションが特徴となっている香り | 正) RUSH2<br>LUSH2<br>(グッチ) |
|------|--|----------------------------|